

## 【七戸町教育委員会】

### 校務 DX 計画

七戸町では、デジタルドリルや授業支援クラウド、汎用クラウドツールを活用し、校務のデジタル化を推進してきた。しかし依然として、紙ベースの書類や手入力作業が多く、デジタル化しきれていないのが現状である。そのため、次世代の校務 DX 化へ向けて以下に重点を置き整備していく。

#### 1. 校務系・学習系ネットワークの統合

現在の運用形態では、校務系と学習系のネットワークが分離しており、それぞれ専用の端末を使用している。そのため教職員は2台の端末を使い分けなければならない、データの移行や端末の管理などの点で負担が大きい。ネットワークを統合し、端末を一台化することでそれらが解消されるとともに、ゼロトラストの考え方に基づいたセキュリティ対策（多要素認証等）を講じ、ロケーションフリーな環境を整備することで利便性の確保も可能となる。

#### 2. 校務支援システムの導入

青森県内で統一する方針があるため、それに準拠する。導入にあたっては、当町のネットワーク構成や利用規模、運用形態の把握が必須であるためそれらを整理する。また、オンプレミス版ではなくクラウド版を利用することでデータの共有や更新、管理が容易になり不要な手入力作業を一掃することができる。

#### 3. クラウドツール活用の推進

クラウドツールを活用することで、資料や情報の共有が容易となり、ペーパーレス化の促進・業務の効率化が図られる。当町でも、すでに Microsoft Teams や Forms を活用し、資料や進捗状況の共有、アンケートの実施が行われており業務の効率化につながっている。今後は他自治体等での活用事例等も参考にしながら ICT 支援員と協議し、さらに活用の幅を広げていく。

#### 4. FAX・押印の見直し

メール等での連絡が主となっており、緊急時以外は基本的に FAX を利用していない。押印については、一部まだ必要とする書類があるため、原則廃止に向けて見直しを行う。

#### 5. 学校・保護者間の連絡手段の確保

「マチコミ」というソフトウェアを利用しているが、利用している機能は学校から保護者への一方的な連絡に限られている。まずは必要な機能を精査し、当町の現状に適したソフトウェアを選定する。

#### 6. 教育情報セキュリティポリシーの見直し

令和2年度に「七戸町教育情報セキュリティポリシー」を策定しているが、それ以降の改正は行っていない。これからの校務デジタル化に対応したものとなるように国や県の方向性を把握しながら、随時内容の精査・改正を行う。